

新光製糖株式會社

証券コード：2113



## 第96期中間報告書

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てとご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第96期中間連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業の概況及び中間連結財務諸表等につきましてご報告申し上げます。

### 事業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、アジア新興国向けを中心とする輸出の増加等により、企業収益に一部回復の兆しが見られるものの、円高・デフレの進行及び厳しい雇用情勢等依然として先行き不透明な状況にあり、個人消費は低調に推移いたしました。精製糖業界におきましては、個人消費の減少の影響を受け、厳しい状況が続いております。

当中間連結会計期間の海外粗糖市況は、ニューヨーク砂糖取引所現物相場1ポンド当たり期初19.97セントで始まりましたが、主要生産国であるブラジルの減産予想を主な背景に急速に値を上げ、32.51セントで当中間連結会計期間を終了しました。国内砂糖市況（日本経済新聞掲載、大阪上白糖現物相場1キログラム当たり）は、期初183円で始まり、平成22年7月3日に177円に値を下げた後、同レベルを維持して当中間連結会計期間を終了しました。

当社グループの主な部門別の概要は、次のとおりであります。

精製糖・液糖部門は、個人消費の減少の影響を受けたものの、海外粗糖相場の高騰等を背景とする国内砂糖市況の先高感（大阪上白糖現物相場は、平成22年10月13日に1キロ

グラム当たり6円値を上げ、183円となりました。）から、9月後半に需要の先取りが一部見られたことにより、販売数量は前年同期比微増となり、売上高は国内砂糖価格が前年同期比上昇したこともあり、6,129百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

氷砂糖部門では、青梅の生産が全国的に不作となり、市場への出回り数量が昨年比減少したことから、主要用途であります梅酒・梅シロップ用の需要が落ち込み、販売数量は前年同期比減、売上高は516百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

精製糖、液糖及び氷砂糖を除くその他の売上高は119百万円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当社グループの売上高は6,765百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

利益面では、原料粗糖の適切な価格での調達、採算を重視した販売及び製造コスト削減等に努めました結果、営業利益は前年同期比1.3%増加し、544百万円となりました。経常利益は、前年同期と同じ651百万円となり、中間純利益は前年同期比1.9%増の415百万円となりました。

## 今後の見通し及び対処すべき課題

企業収益に一部回復の兆しが見られるものの、円高・デフレの進行及び厳しい雇用情勢等依然として先行き不透明な状況にあります。精製糖業界におきましては、個人消費の減少及び加糖調製品の輸入の増加等の影響を受けており、国内砂糖市況の先行きは不透明な状況が続くと思われまます。海外粗糖相場につきましては、主要生産国であるブラジルの動向や投機資金の動きにより大きく変動する可能性があります。WTO、EPA等における農業交渉につきましては、現在大きな進展はありませんが、農水産物輸入の低関税化は世界経済の趨勢であり、今後の進展を注視しております。

このような厳しい状況の下、当社グループにおきましては、「明るく豊かな食文化を提案する」という企業理念のもと、高い品質の安全で信頼のおける製品をお届けすることを通してお客様に満足と安心を得ていただくと共に、経営の効率性と業績の向上を図ることで、社会に貢献し、株主、取引先、従業員等ステークホルダーの皆様のご期待にお応

えする所存でございます。また、これまで実施してきたコスト削減や経営効率化の更なる推進と共に、総合的な販売力の一層の強化に取り組み、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益及び総資産利益率（ROA）を重要な経営指標として、企業価値の増大に全力を傾注する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成22年12月

代表取締役社長 樋口洋一

## 経営理念

- 公正で透明性の高い経営を通じて、従業員の豊かさ、お客様の満足、株主の利益を追求する。
- 人間尊重を基本として、信用を重んじ、高品質で安全な製品を提供する。
- 地域社会に貢献し、信頼される企業を目指す。

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)	科 目	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,844,828</b>	<b>6,899,256</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,049,187</b>	<b>1,229,636</b>
現金及び預金	397,996	246,227	買掛金	191,550	286,081
売掛金	463,549	537,200	未払法人税等	252,699	313,937
有価証券	—	146,057	未払金	258,173	382,105
商品及び製品	619,831	520,777	役員賞与引当金	10,000	17,150
仕掛品	84,650	219,412	その他	336,763	230,362
原材料及び貯蔵品	646,207	530,488	<b>固定負債</b>	<b>305,054</b>	<b>299,934</b>
繰延税金資産	68,261	77,852	退職給付引当金	253,352	237,366
預け金	4,550,000	4,600,000	役員退職慰労引当金	48,616	58,196
その他	15,331	22,239	その他	3,085	4,371
貸倒引当金	△1,000	△1,000	<b>負債合計</b>	<b>1,354,241</b>	<b>1,529,570</b>
<b>固定資産</b>	<b>6,721,535</b>	<b>6,563,198</b>	<b>純 資 産 の 部</b>		
<b>有形固定資産</b>	<b>3,595,248</b>	<b>3,505,396</b>	<b>株主資本</b>	<b>12,031,490</b>	<b>11,731,217</b>
建物及び構築物	688,635	708,991	資本金	1,495,000	1,495,000
機械装置及び運搬具	1,584,816	1,554,308	資本剰余金	942,783	942,783
土地	1,151,226	1,151,226	利益剰余金	9,609,827	9,309,226
建設仮勘定	112,000	39,060	自己株式	△16,119	△15,792
その他	58,570	51,811	<b>評価・換算差額等</b>	<b>3,939</b>	<b>8,960</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>146,082</b>	<b>154,977</b>	その他有価証券評価差額金	3,939	8,960
ソフトウェア	129,282	146,577	<b>少数株主持分</b>	<b>176,692</b>	<b>192,706</b>
ソフトウェア仮勘定	16,800	8,400	<b>純資産合計</b>	<b>12,212,122</b>	<b>11,932,884</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,980,204</b>	<b>2,902,824</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>13,566,363</b>	<b>13,462,455</b>
投資有価証券	2,811,118	2,732,306			
繰延税金資産	139,319	137,100			
その他	39,924	43,574			
貸倒引当金	△10,157	△10,157			
<b>資産合計</b>	<b>13,566,363</b>	<b>13,462,455</b>			

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前中間期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,765,568	6,393,631
売上原価	5,345,025	4,997,162
売上総利益	1,420,543	1,396,469
販売費及び一般管理費	876,479	859,331
営業利益	544,063	537,138
営業外収益	117,632	118,044
受取利息	14,872	17,465
受取配当金	4,707	8,151
持分法投資利益	92,459	88,953
その他	5,592	3,472
営業外費用	10,436	3,641
固定資産処分損	9,415	884
リース解約損	—	2,481
その他	1,020	276
経常利益	651,259	651,541
税金等調整前中間純利益	651,259	651,541
法人税、住民税及び事業税	239,258	257,258
法人税等調整額	10,861	△3,447
少数株主損益調整前中間純利益	401,139	—
少数株主損失	△14,304	△10,063
中間純利益	415,443	407,793

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前中間期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	444,933	737,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,853	△675,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,368	△94,268
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105,711	△33,121
現金及び現金同等物の期首残高	292,284	350,722
現金及び現金同等物の中間期末残高	397,996	317,601

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		少数株主持分	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金			評価・換算 差額等合計
平成22年3月31日残高	1,495,000	942,783	9,309,226	△15,792	11,731,217	8,960	8,960	192,706	11,932,884
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△114,843		△114,843				△114,843
中間純利益			415,443		415,443				415,443
自己株式の取得				△327	△327				△327
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△5,020	△5,020	△16,014	△21,035
中間連結会計期間中の変動額合計			300,600	△327	300,273	△5,020	△5,020	△16,014	279,237
平成22年9月30日残高	1,495,000	942,783	9,609,827	△16,119	12,031,490	3,939	3,939	176,692	12,212,122

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 中間財務諸表

## 中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)	科 目	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,564,077</b>	<b>6,576,488</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,023,449</b>	<b>1,188,596</b>
現金及び預金	337,473	179,717	買掛金	204,800	311,507
売掛金	444,870	473,731	未払法人税等	252,441	313,420
有価証券	—	100,000	未払金	256,079	358,920
商品及び製品	621,955	525,316	役員賞与引当金	10,000	17,150
仕掛品	84,650	219,412	その他	300,127	187,598
原材料及び貯蔵品	646,207	530,488	<b>固定負債</b>	<b>266,748</b>	<b>261,067</b>
繰延税金資産	68,261	77,852	退職給付引当金	229,218	218,321
預け金	4,350,000	4,450,000	役員退職慰労引当金	34,444	38,375
その他	11,658	20,969	その他	3,085	4,371
貸倒引当金	△1,000	△1,000	<b>負債合計</b>	<b>1,290,197</b>	<b>1,449,664</b>
<b>固定資産</b>	<b>4,656,197</b>	<b>4,587,184</b>	<b>純 資 産 の 部</b>		
<b>有形固定資産</b>	<b>3,541,609</b>	<b>3,448,638</b>	<b>株主資本</b>	<b>9,926,138</b>	<b>9,705,048</b>
建物	571,570	584,873	<b>資本金</b>	<b>1,495,000</b>	<b>1,495,000</b>
構築物	101,904	108,491	<b>資本剰余金</b>	<b>942,783</b>	<b>942,783</b>
機械及び装置	1,550,420	1,515,532	資本準備金	942,000	942,000
車両運搬具	4,757	6,710	その他資本剰余金	783	783
工具器具及び備品	57,627	50,641	<b>利益剰余金</b>	<b>7,504,474</b>	<b>7,283,057</b>
土地	1,143,329	1,143,329	利益準備金	117,000	117,000
建設仮勘定	112,000	39,060	その他利益剰余金	7,387,474	7,166,057
<b>無形固定資産</b>	<b>146,082</b>	<b>154,977</b>	別途積立金	6,700,000	6,300,000
ソフトウェア	129,282	146,577	繰越利益剰余金	687,474	866,057
ソフトウェア仮勘定	16,800	8,400	<b>自己株式</b>	<b>△16,119</b>	<b>△15,792</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>968,505</b>	<b>983,568</b>	<b>評価・換算差額等</b>	<b>3,939</b>	<b>8,960</b>
投資有価証券	568,956	582,588	その他有価証券評価差額金	3,939	8,960
関係会社株式	240,077	240,077	<b>純資産合計</b>	<b>9,930,077</b>	<b>9,714,008</b>
繰延税金資産	139,319	137,100	<b>負債純資産合計</b>	<b>11,220,274</b>	<b>11,163,673</b>
その他	22,702	26,352			
貸倒引当金	△2,550	△2,550			
<b>資産合計</b>	<b>11,220,274</b>	<b>11,163,673</b>			

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期
	(自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日)	(自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)
売上高	6,662,721	6,281,862
売上原価	5,257,763	4,909,461
売上総利益	1,404,957	1,372,400
販売費及び一般管理費	833,156	810,851
営業利益	571,801	561,549
営業外収益	23,863	23,805
受取利息	10,939	11,672
有価証券利息	3,141	4,810
受取配当金	6,193	5,356
その他	3,588	1,965
営業外費用	9,542	3,641
固定資産処分損	9,287	884
リース解約損	—	2,481
その他	255	276
経常利益	586,122	581,713
税引前中間純利益	586,122	581,713
法人税、住民税及び事業税	239,000	257,000
法人税等調整額	10,861	△3,447
中間純利益	336,260	328,160

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金			
		資本準備金	その他 資本剰余金		資本剰余金 合計	その他利益剰余金						利益剰余金 合計	
					別途 積立金	繰越利益 剰余金							
平成22年3月31日残高	1,495,000	942,000	783	942,783	117,000	6,300,000	866,057	7,283,057	△15,792	9,705,048	8,960	8,960	9,714,008
中間会計期間中の変動額													
別途積立金の積立						400,000	△400,000						
剰余金の配当							△114,843	△114,843		△114,843			△114,843
中間純利益							336,260	336,260		336,260			336,260
自己株式の取得									△327	△327			△327
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額 (純額)											△5,020	△5,020	△5,020
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	400,000	△178,583	221,416	△327	221,089	△5,020	△5,020	216,068
平成22年9月30日残高	1,495,000	942,000	783	942,783	117,000	6,700,000	687,474	7,504,474	△16,119	9,926,138	3,939	3,939	9,930,077

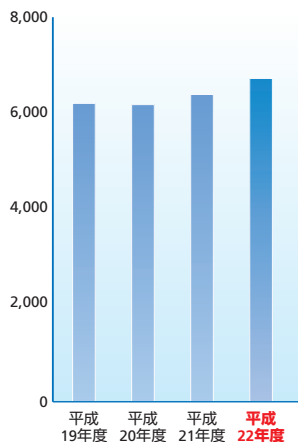
(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 中間決算ハイライト

## 連結

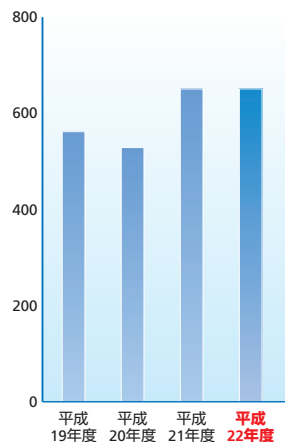
### 売上高

(百万円)



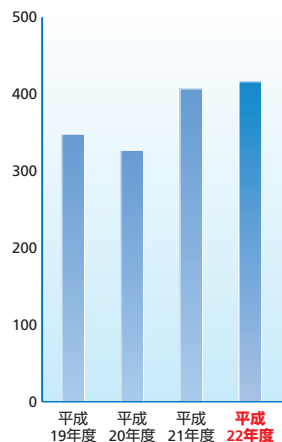
### 経常利益

(百万円)



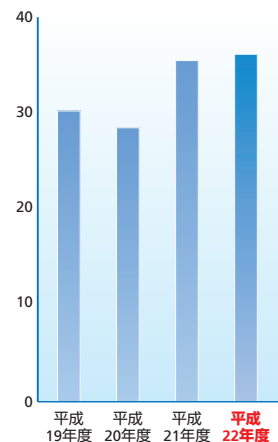
### 中間純利益

(百万円)



### 1株当たり中間純利益

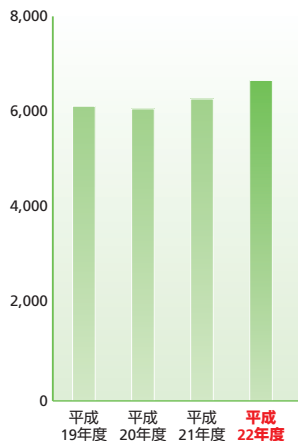
(円)



## 単体

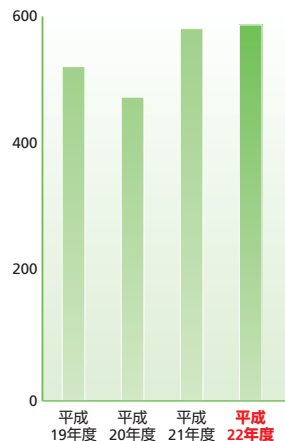
### 売上高

(百万円)



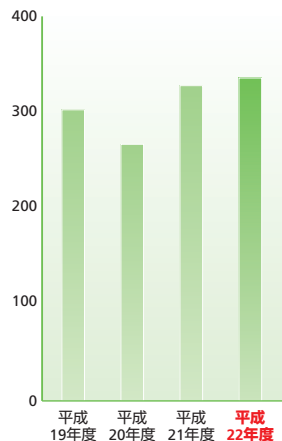
### 経常利益

(百万円)



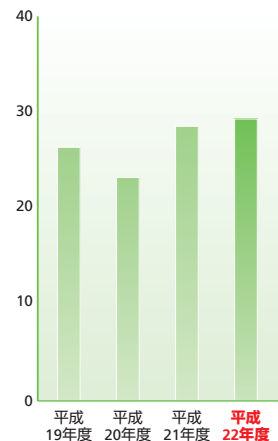
### 中間純利益

(百万円)



### 1株当たり中間純利益

(円)



# 株式の状況・会社概要

## 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	37,522,000株
発行済株式の総数 (自己株式 38,425株を含む。)	11,522,000株
株 主 数	1,348名

## 大株主 (上位10名)

氏名又は名称	持株数(千株)	持株比率(%)
住友商事株式会社	7,873	68.56
日新製糖株式会社	730	6.36
菅原運送株式会社	190	1.65
株式会社村上商店	130	1.13
菅原 茂雄	90	0.78
平野 周一	80	0.70
株式会社大宏	59	0.51
三立製菓株式会社	50	0.44
株式会社ハーベスト	41	0.36
松島 正平	35	0.30

(注) 1. 当社は、自己株式38,425株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式(38,425株)を控除して計算しております。

## 会社概要 (平成22年9月30日現在)

商 号	新光製糖株式会社
英 文 商 号	Shinko Sugar Co., Ltd.
設 立	昭和19年6月10日
事 業 内 容	精製糖、氷砂糖、液糖の製造販売
資 本 金	1,495,000千円
従 業 員 数	連結：119名 単体：69名
ホームページアドレス	<a href="http://www.shinko-sugar.co.jp/">http://www.shinko-sugar.co.jp/</a>

## 役員状況 (平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	樋 口 洋 一
常 務 取 締 役	安 部 正 則
取 締 役	山 口 康 展
取 締 役	砂 岡 睦 夫
取 締 役	小 島 達 久
取 締 役	砂 坂 静 則
取 締 役	芝 山 浩 二
取 締 役	森 永 剛 司
監査役(常勤)	安 達 力 郎
監査役(常勤)	原 豪 範
監 査 役	坪 田 昌 幸
監 査 役	島 田 育 男
監 査 役	森 口 悦 克



# おいしいお砂糖レシピのご紹介



## シナモンポテト



さつまいもは不足しがちな食物繊維を豊富に含みます。特に皮の近くに多く含まれるので、皮を薄めにむくとより多く摂取できます。



### ▶ 材 料

さつまいも	300g
砂糖	50g
卵黄	1個
シナモン (パウダー)	適量
黒ごま	適量

### ▶ 作り方

1. さつまいもは、2cm厚さの輪切りにして皮をむき、水にさらしてアクを抜きます。
2. さつまいもの水けをふいて、蒸し器でやわらかく蒸し、熱いうちに裏ごしします。
3. さつまいもと砂糖を鍋に入れてしゃもじで練り合わせ、卵黄を加えて、弱火にかけながら、なめらかになるまで練ります。
4. 3を4等分してさつまいもの形にまとめ、シナモンの上をころがして全体にまぶします。
5. 天板に並べて、約180℃に熱したオーブンで約10分焼きます。
6. 焼きあがれば斜め半分に切り、切り口に黒ごまを飾ります。

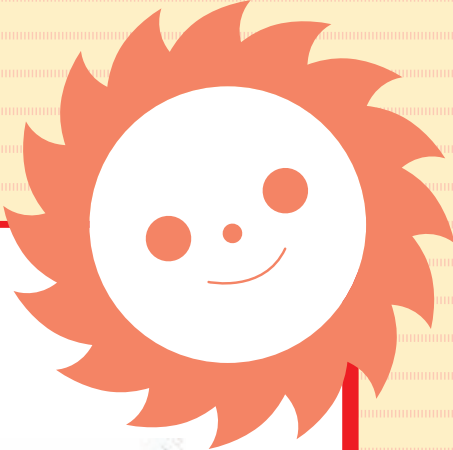
### 調理ポイント

さつまいもは冷めると裏ごしにくくなるので、熱いうちに裏ごしするようにします。





## かりん酒



### ▶ 材 料

かりん	1kg
氷砂糖	1kg
ホワイトリカー	1.8リットル

### ▶ 作り方

1. 黄色く完熟したかりんを、お湯でよく洗いネバネバを取り、2〜3日自然乾燥させる。



2. かりんを約2cmの厚さの輪切りにします。種の部分にも芳香がありますので、そのままいっしょに用います。



3. 広口ビンに氷砂糖とかりんを入れて、ホワイトリカーを注ぎます。



4. ビンの口を密封して保存します。3ヵ月頃から飲めますが、1年すぎてからが、より美味しいでしょう。(6ヵ月頃に、かりんを取り出してください。)

### かりん酒の美味しい飲みかた



1. グラスに、かりん酒と氷を入れて、オン・ザ・ロック。



2. かりん酒を冷たい炭酸で割れば、スポーツの後に最適なかりん酒ソーダ。

3. 冬はお湯割りで、ホットかりん酒。のどの健康に最適です。
4. オリジナルカクテルや、オリジナルシャーベットのベースにもお使いいただけます。
5. ほかの果実酒とのブレンドで、いろいろな味のバリエーションをお楽しみいただけます。

### 〈かりんの効用〉

成分にリンゴ酸、クエン酸、カロチン、タンニン、ビタミンC、ミネラルを多く含み、せき止め、ぜんそく、強壮、疲労回復、美容に効果ありといわれている。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

**【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】**  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>

**【特別口座について】**  
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	大阪証券取引所

## ホームページのご案内



<http://www.shinko-sugar.co.jp/>

## 新光製糖株式会社

〒536-0004  
大阪市城東区今福西6丁目8番19号  
TEL 06-6939-1201



この報告書は、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。